

# 障害者ベビリーリーフ栽培

## 神奈川・愛川町 企業が農園経営



腰を痛めにくい高床式を採用した

建設資材レンタルの  
日建リース工業が4月  
20日、農福連携を目的  
とした「はーとふる農  
園愛川」を、神奈川県  
愛川町で開所した。主  
にベビリーリーフを育て  
る農園で、同社が雇用  
した障害者が働くほ  
か、他の企業に区画賃  
として障害者雇用の場  
として利用してもら  
う。

建設現場で使われる  
足場など、自社の仮設  
資材を活用した農園つ  
くりが特徴だ。資材は、  
規格が古くなり現場で  
使わなくなったものを  
リサイクル。立ったま  
まで作業ができる「高  
床式砂栽培」という方  
法を採用し、その足の  
部分や、ビニールハウ  
スの骨組み部分に資材  
を活用した。  
ビニールハウスは全  
部で14棟あり、約10

0人の障害者が働ける  
農地を確保した。  
栽培されるベビリー  
リーフは、自社の福利厚  
生として食堂などの  
食材に活用する。将来  
的には販路を確保し、  
販売した分を賃金に上  
乗せして支払う仕組み  
も検討していくとい  
う。  
障害者の賃金は、神  
奈川県の最低賃金（1  
012円）の水準を保  
証。働き手に関しては、  
相模原市社会福祉事業  
団など地元や近隣の福  
祉関係者の協力のもと  
紹介してもらう。農業  
指導や障害者のサポー  
トに関しては、同社の  
専門職員がカバーする  
仕組みとなっている。  
(濱本高佑)